2 次のそれぞれの問いに答えなさい。

(1) 次の文を文節に分けると、何文節になりますか。漢数字で答えなさい。
〈では、人間を他者と区別するもっとも大きな特徴はなんだろうか。〉

(2)「さまざまな役割を担った人が住んでいる。」を単語に区切るとき、その区切り方として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア さまざまな／役割／を／担っ／た／人／が／住ん／で／いる。
イ さまざまな／役割／を／担っ／た／人／が／住んで／いる。
ウ さまざま／な／役割／を／担っ／た／人／が／住ん／で／いる。
エ さまざま／な／役割／を／担っ／た／人／が／住んで／いる。

(3)「パーティーに分かれて暮らす」を単語に分けたとき、①最初から数えて四番目の単語を書きなさい。また、②その品詞名も書きなさい。

(4)「それもみな買い立ての真新しいものだった」の中に自立語はいくつ含まれていますか。自立語の数を書いて答えなさい。

(5) 次の文の――線aとbの、文節と文節の関係として適切なものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。
〈石で石を打ちかいて、あるいは石で石を磨いて、先鋭な刃が製作されたわけだが、何万年もの時代を経た今日においてすら、それは十分にその達成に満足していいaバランスとb完成度をたたえている。〉

ア 主語・述語の関係　イ 修飾・被修飾の関係
ウ 並立（対等）の関係　エ 補助の関係

(6) 次の文の――線部「夕食時」はどの文節を修飾していますか。ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
〈夕食時、ア ぼくは今日押野（おしの）がイ 言ったことをウ おじいさんにエ 伝えた。〉

(7) 次の文の――線部「はたして」は、どの部分と呼応していますか。最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。
〈そのとき、はたしてあなたは画面の上にある色や形を、写真機のレンズが対象のイメージをそのまま映すように見ているかどうか、考えてみれば疑問です。〉

ア 対象のイメージを　イ そのまま映すように
ウ 見ているかどうか　エ 考えてみれば疑問です

3 次のそれぞれの問いに答えなさい。

(1) 次の文の――線部「大いに」について、あとの問いに答えなさい。
〈一方ではまた、同質な人々がつながり合うことを容易にする手段としても、大いに役立っています。〉

①「大いに」の品詞名として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 動詞　イ 形容詞
ウ 連体詞　エ 副詞

② 次の――線部の中から「大いに」と品詞が同じものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 若い人々の中には～。
イ 私たちにはその知恵が問われていることに～。
ウ たとえ一時的には自己肯定感がゆらいだとしても～。
エ 外部から閉ざすことではなく～。

(2) 次の文の――線部「かかわっ」と活用の種類が同じ動詞が含まれていることばをあとから一つ選び、記号で答えなさい。

SAMPLE

〈ほとんどその人間の生き方とも言えるものがそこにかかわっているからである。〉

ア　練習しろ　　イ　走れば

ウ　起きます　　エ　食べない

(3)　次の文の――線部「置いて」は、五段活用の動詞「置く」の連用形が「て」に続くことで活用語尾が音便になっています。同じように――線部分が音便になっているものをあとから**すべて**選び、記号で答えなさい。

〈膝（ひざ）に両手を置いて、思い詰めた表情で黙り込んでいた。〉

ア　読んだ　　イ　探した　　ウ　知った

エ　用いた　　オ　求めた

4　次のそれぞれの問いに答えなさい。

(1)　次の文の――線部の中から、助動詞の「れる」を**二つ**選び、記号で答えなさい。

ア　「学ぶ」とか「学び」とかいうことばが最近よく使われる。

イ　新しい「知識」を導き出せるか、私たち自身に問われるようになる。

ウ　本質的なことをも深く「学び」とれる人なのかもしれない。

エ　生きることは「学び」の質や深さに支えられる面があるのだ。

オ　「知識」を創造する意欲をかき立ててくれるものであるべきだ。

(2)　次の文の――線部と意味用法が同じものを、それぞれあとから選び、記号で答えなさい。

①　このピアノは、音がきれいだ。

ア　よく晴れた日だ。　　イ　彼女は表情が豊かだ。

ウ　ボールが遠くまで飛んだ。　　エ　彼は明日の午後来るそうだ。

②　昨日、自動車で家族と牧場に出かけた。

ア　日本は平和である。　　イ　やかんでお湯を沸かす。

ウ　彼は疲れていたようである。　　エ　シラコバトが飛んでいる。

5　次の問いに答えなさい。

春香さんは、次の□内のように学校新聞の記事を書きました。

> バスケットボール部は、二月二十日に行われた地区大会で、創部以来初の三連覇を達成した。決勝戦では序盤から着実に得点を重ね、終盤までリードを保って、48対30と危なげなく勝利した。校長先生は、「三連覇はすごい。みんなの努力が実を結んだ」とたたえた。
>
> 田中陽一主将（二年一組）は、「結果はもちろん、冬の練習を乗り越えたチームの成長を感じとれたことがうれしい。これに満足することなく、次は、今まで優勝経験のない春の県大会を制したい」と力強く語った。

そして、記事の内容をもとにねらいの異なる次の二つの見出しを考えました。

A　**バスケ部、新たな歴史を刻む！**

B　**バスケ部、春にも歴史を刻め！**

このA、B二つの見出しからどちらか一つを選んでその記号を書き、あなたの選んだ見出しには、どのようなことを伝えようとするねらいがあるか、記事の内容にふれながら書きなさい。

（これで問題は終わりです）

SAMPLE